

項目別取りまとめ表（再評価委員会検討資料及び委員の意見を取りまとめ、委員会の了承を得たもの）

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費用等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
白滝・丸瀬布（北海道） * 21.5km中10.5km完成しており進捗率49%	<ul style="list-style-type: none"> 関係町村は、豊富な森林資源を有し、事業量（施業量、木材生産量）が大きい。 受益地は、人工林率（14%）が関係町村全体を下回っているが、木材生産量は町村全体を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成している丸瀬布・留辺蘂区間と連絡し、丸瀬布町の森林公園等への北見市、旭川市方面からのアクセスが改善される。 完成区間と連結され、白滝村から北見市、網走市までの距離が短縮され、生活環境の改善が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、地域の道路ネットワークを形成する。 国道の災害時の迂回路となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国有林作業道の利用により残土運搬距離の短縮を図るなど工種・工法の工夫によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道等が把握している限りにおいては、貴重動植物の情報は、現時点では確認されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 奥地森林地域の管理・林産物輸送の効率化、災害時の迂回路機能が期待できる区間であることから、北海道、白滝村及び丸瀬布町は、早期完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
白滝・丸瀬布	-

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
田島・館岩 (福島県) * 14.7km中3.4km完成しており進捗率23%	<ul style="list-style-type: none"> 関係町村、受益地ともに豊富な森林資源を有し、事業量も大きい。 受益地では、今後事業量が実績に比べ増加することから、区間開設による作業の効率化が期待される。 区間周辺の森林から共販所がある会津若松市への距離が大きく短縮される。 	<ul style="list-style-type: none"> 起終点付近には、キャンプ場も備えた公園、スキー場等の森林レク施設があり、両地域からの相互の流入が期待される。 田島町針生地区と館岩村高杖原地区、森戸地区を結ぶ新たな路線となり、生活環境が改善される等集落道としての利用が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、地域の道路ネットワークを形成する。 郡内で唯一総合病院のある田島町や会津地方の中心地である会津若松市へ通じる国道の災害時の迂回路となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 横断排水については、埋設深さに応じて、施工コストの低廉なプレストレストコンクリート管を使用するなど工種・工法の工夫によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの現地調査で、クマタカ、オオタカの飛翔や、ハイタカの営巣が確認されていることから、引き続きモニタリング調査を実施し、事業実施に配慮することとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 区間に関係する地域においては林業・木材産業が地域経済の柱の一つであり、区間完成による道路ネットワークの形成により、林業経営コスト低減、森林整備の促進、森林レクの振興、さらには集落道利用が期待できること等から、福島県、田島町、伊南村及び館岩村は、早期完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
田島・館岩	<ul style="list-style-type: none"> 猛禽類のモニタリング調査に基づき、環境保全に配慮して事業を実施する必要がある。

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
<p>有 峰 (富 山 県)</p> <p>* 38.6km中19.2km完成しており進捗率50%</p> <p>* 路線全体の進捗率75% (今年度末に4区間中3区間完成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係町、受益地とも豊富な森林資源を有しているが、事業量は比較的少ない。 当該県の林産加工は外材を主体としていることから、木材流通ルートの一つになるとともに、岐阜県側からの国産材の移入による国産材加工の振興も期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 起終点には、家族旅行村、スキー場、キャンプ場等があり、富山県側からの利用者の増加に加え、岐阜県側からの利用者の増加も期待される。 富山県と岐阜県とを結ぶルートであり、大山町と岐阜県神岡町では、商工会が中心となったイベント等の交流も始まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、既完成区間、公道利用区間と一体となって、富山市から高山市までを南北に結ぶ地域の道路ネットワークを形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 路側構造物については、コンクリート二次製品(L型擁壁)を使用するなど、工種・工法によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 有峰県立自然公園内を通過しており、公園協議において、支障木の伐採を最小限に留めること、風致上支障がないよう残土処理をすることなどが上げられ、既設道に沿った線形、改変量の少ない工法、在来種による法面緑化等に努めている。 現在、県等が把握している限りにおいては、希少猛禽類等貴重動植物について、調査報告やその他の情報はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育作業や森林の適正な管理に重要な役割を果たすとともに、岐阜県との交流が可能となり、森林環境教育や森林レクの場合へのアクセス道として複合的な機能を果たす区間であることから、富山県及び大山町は、早期完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
有 峰	<ul style="list-style-type: none"> 風致維持への配慮など環境保全に配慮して事業を実施することが必要と考える。

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
美 山 (岐阜県) *7.9km中1.0km 完成しており 進捗率13%	<ul style="list-style-type: none"> 関係町、受益地とも豊富な森林資源を有し、事業量も大きい。 受益地(人工林率74%)を含め、同町は人工林率が高く、「長良杉」の銘柄でスギ大径材生産が行われており、今後も保育、間伐等が継続的に見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本区間周辺のキャンプ場、登山道等の森林レク施設へのアクセスが改善される。 塩後地区等と神崎地区等の距離が短縮され、地域交流の活発化など集落道としての利用が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、地域の道路ネットワークを形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 路側構造物については、コンクリート二次製品(L型擁壁)を使用するなど、工種・工法によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの現地調査で、ハイトカの飛翔が確認されているが、現在のところ計画路線周辺において営業は確認されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 林業・林産業を基幹産業とする地域において、コストの低減、森林の適正な管理、さらには通勤、通学道等として重要な区間であることから、岐阜県及び美山町は、早期完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
美 山	-

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
大 和 (島根県) * 3.7km中2.2km完成しており進捗率59% * 路線全体の進捗率97%(今年度末に9区間中8区間完成)	<ul style="list-style-type: none"> 関係村は、豊富な森林資源を有し、事業量が大きい。 受益地の事業量は比較的少ないが、今後大規模林道周辺の人工林の保育や間伐の増加が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部完成部分は、通勤・通学等に利用されている。 完成後は、宮内地区から役場がある中心部までの時間短縮による生活環境の改善等と災害時の迂回路利用が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、地域の道路ネットワークを形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地質の不安定な切取斜面については、地山へ鉄筋を挿入して補強した法枠工を採用するなど、工種・工法の工夫によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査では確認されていないが、オオサンショウウオの生息する可能性があるため、橋梁の設置に当たっては、河川中央部に橋脚を設けない構造とした。 クマタカの飛翔が村内では確認されているが、計画路線周辺の現地調査では確認されず、情報もない。 	<ul style="list-style-type: none"> 林業用さらには生活道として重要な幹線道路であることから、島根県及び大和村は、早期完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
大 和	-

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
<p>新 見 (岡山県)</p> <p>* 8.7km中5.2km完成しており進捗率60%</p> <p>* 路線全体の11区間中10区間完成しており進捗率95%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係市、受益地とも豊富な森林資源を有し、事業量は大きい。 ・ 受益地の人工林率は75%で、継続的な施業が見込まれる。 ・ 区間周辺の森林から生産される素材の新見市街地に集中している木材市場等への出荷に大きな改善が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区間以北に位置する森林レク施設のアクセスに特に効果があり、利用者の増加が期待される。 ・ 芋原地区から市中心部及び朝間、千屋地区からJRの足立駅への時間が短縮され、生活環境の改善が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公道が未整備の森林地域に開設され、改良が進んでいる公道利用区間の市道とともに、地域の道路ネットワークを形成する。 ・ 災害時等の迂回路の役割も期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横断排水施設として、アーチ型コンクリート二次製品の採用や、舗装材料として、再生アスファルト合材を使用するなど、工種・工法の工夫によるコストの削減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調査でオオサンショウウオの生息が確認されたため、上下流に移動できるよう暗きょ工に替えて橋梁等を採用し、土砂の流出防止を十分に行うこととしている。 ・ 現地調査でエビネが確認されているが、建設区域内に生育している場合は、移植することとしている。 ・ 既存文献資料では、クマタカの分布域とされているが、計画路線周辺の現地調査では確認されていない。また、情報もない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県内有数の林業地域における林業の振興、地域経済の活性化のために、県及び新見市は、一日も早い完成を要望している。 ・ また、本区間の完成により路線が全線開通し、開設効果の発現が大いに期待できるとして、県は、早期完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
新 見	-

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
戸河内・吉和 (広島県) * 26.5km中10.2km完成しており進捗率38%	<ul style="list-style-type: none"> 関係町村は、豊富な森林資源を有し、事業量も大きい。 受益地の木材生産量は小さいが、今後人工林の保育等が増加すると見込まれる。 本区間周辺の森林から、加計町、広島市方面の木材市場へのアクセスが改善される。 	<ul style="list-style-type: none"> 本区間中間部及び周辺部のスキー場、森林公園等の森林レク施設へのアクセスが改善され、都市との交流促進を通じて地域の活性化が期待される。 横川地区と小坂地区、さらには吉和インターチェンジ周辺集落とのアクセスが改善される。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、地域の道路ネットワークを形成する。 県道「恐羅漢公園線」災害時及び冬季の一方通行規制時の迂回路となる。 	<ul style="list-style-type: none"> トンネル中央排水施設に高密度ポリエチレン管を使用するなど、工種・工法によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 西中国山地国定公園内を通過している。 県自然環境保全審議会自然保護部会から溪畔林内は幅員7mにこだわらず自然環境に十分留意するよう意見が出されている。 自然保護団体等からルート変更等の要請が出されている。 溪畔林部分について、幅員の縮小、切土の縮減、溪流への土砂流入防止、伐採木の減少等を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 合理的な林業経営を可能とする区間となることから、広島県、戸河内町及び吉和村は、早期完成を要望している。 戸河内町は、森林レク振興による地域活性化、吉和村は、ワサビ栽培の振興にも大きな効果をもたらすとして期待を寄せている。 県からは、国定公園を通過することから、環境保全への適切な対応も併せて要望が出されている。

区 間 名	留 意 事 項
戸河内・吉和	<ul style="list-style-type: none"> 溪畔林部分については、環境保全に十分配慮して事業を実施することが必要と考える。

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
<p>本 郷 (山口県)</p> <p>* 3.5km中2.1kmが完成しており進捗率60%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係町村、受益地ともに、豊富な森林資源を有し、事業量も大きい。 本区間周辺及び隣接の錦区間周辺で生産される素材の岩国市の共販所への出荷アクセスが改善される。 	<ul style="list-style-type: none"> 本区間北端の人工スキー場及びキャンプ場を備えた森林レク施設への、岩国市方面等からのアクセスが改善される。 延ヶ原地区、岡之迫地区と錦町の大原地区が連絡され、集落道としての利用が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が未整備の森林地域に開設され、錦町と本郷村、美和町を結ぶ最短ルートとなるとともに、隣接する錦区間を通して中国自動車道と連絡するなど、地域の道路ネットワークを形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接区間の発生残土を盛土利用することなど工種・工法の工夫によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 羅漢山県立自然公園の区域に含まれている。 既存文献調査等では、ツキノワグマ、クマタカの分布の可能性もあったが、計画路線周辺の現地調査では確認されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 膨大な森林資源が蓄積され林業の盛んな地域において、林業の振興、森林の適正な管理が図られる区間であることから、山口県及び本郷村は、地域産業の活性化等のために一日も早い完成を要望している。

区 間 名	留 意 事 項
本 郷	

区 間 名	森林の賦存状況及び林業・林産業の活動の見通し	地域振興への貢献度	周辺道路網との整合性	費 用 等	自然環境を巡る情勢	関係者の意見・意向等
<p>須 木 (宮崎県)</p> <p>* 15.5km中15.1kmが完成しており進捗率97%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係村、受益地とも豊富な森林資源を有し、事業量は大きい。 受益地の人工林率は69%と高く、今後継続的な施業が見込まれる。 区間及び接続県道周辺の森林から宮崎市、都城市、小林市方面の原木市場等へのアクセスが改善される。 	<ul style="list-style-type: none"> 本区間周辺の森林レク施設への宮崎市及び都城市方面からのアクセスが改善される。 内山地区から役場まで時間が短縮されるなど集落道としての利用が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 公道が東西に位置している森林地域において、本区間は南北に結ぶ路線となり、地域の道路ネットワークを形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 横断排水施設として、アーチ型コンクリート二次製品を採用するなど工種・工法の工夫によるコストの縮減が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で県等が把握している限りにおいては、希少動植物について、情報は無い。 	<ul style="list-style-type: none"> 林業地域における基幹となる林道であり、宮崎市場等への林産物の販路拡大が可能となること、山村集落の生活道として機能すること等から、宮崎県及び須木村は、早期完成を要望している。 県では、主要拠点都市と各地域を概ね1時間で結ぶ構想の重要路線と位置づけている。

区 間 名	留 意 事 項
須 木	-